



表彰を受けた梶組組合長(中央)

## News 04 令和7年度農協功労者表彰 梶組組合長が表彰

3月6日に東京都で開かれた全中臨時総会で、JA全中令和7年度農協功労者表彰式が行われ、当JAの梶組組合長が功労表彰者(緑綬)で表彰されました。

JAの発展や地域農業の振興に多大な功績があり、人格高潔で他の模範となる方などを表彰しています。

## News 05 SNS等活用の部で優秀賞 令和7年度静岡県JA広報コンクール表彰式

令和7年度静岡県JA広報コンクールで、当JAがSNS等活用の部で優秀賞を受賞しました。2月5日に静岡市で表彰式が行われ、中央会の鈴木政成会長から藤沼和明専務に表彰状が手渡されました。

同賞は、SNSやホームページを積極的に活用し、優れた取り組みをしているJAに贈られるものです。

また、令和7年度静岡県広報コンクールでも、当JAが広報誌・団体の部で優秀賞を受賞しました。



鈴木会長(手前)から表彰状を受け取る藤沼専務(右)

## News 07 青壮年部あいら伊豆地区 本部が竹あかりで受賞 JA青年組織手づくり看板全国コンクールで表彰

青壮年部あいら伊豆地区本部は、令和7年度JA青年組織手づくり看板コンクールでアート部門賞を受賞し、2月19日にJA全国青年大会で表彰されました。

部員の多くが造園業も手掛けているため竹あかりを制作。タイトルは「繋がる灯」で、地域との「つながり」への感謝と部員同士の「つながる絆」を形にし、このあかりを絶やさず「未来へつないでいく」願いが込められています。



表彰された青壮年部あいら伊豆地区本部

受賞作の竹あかり



JA役員と意見を交わす女性部役員

## News 06 青壮年部・女性部が 役員と意見交換 JA事業運営に反映へ

青壮年部と女性部は1月27日、沼津市で常勤役員との意見交換会を開き、青壮年部・女性部役員13人と、梶組組合長をはじめ常勤役員3人が参加しました。

青壮年部からは担い手支援対策、女性部からは部員に期待することなどの声が上がりました。交わした意見を今後のJA運営に生かし、両組織との連携強化につなげます。



記者発表会でロゴマークを掲げる(左から)高木常務、西島会長、木村社長

## News 01 新レモンブランド「伊豆レモン」誕生 県東部全域への生産拡大へ

JAは1月13日、新たなレモンブランド「伊豆レモン」を発表し、販売を始めました。熱海市で開いた記者発表会では、伊豆レモン協議会の西島洋一会長、高木力常務、木村飲料(株)の木村英文社長らが出席し、ご当地サイダーを手がける木村飲料(株)と連携した「伊豆レモンサイダー」のお披露目も行いました。

「伊豆レモン」の品種はリスボン・ユレーカ・ピラフランカの3系統で、酸味が力強く、果汁が豊富です。生産者全員が静岡県の「みどり認定」を受け、化学農薬・化学肥料を抑えた環境配慮型栽培に取り組んでいます。

高木常務は「生産者の増加や面積の拡大に努め、ブランドの定着を図りたい」と話しました。

## News 03 組合員の意思反映に向けて 第2回地区本部運営委員会代表者会議開く

JAは3月3日に令和7年度第2回地区本部運営委員会代表者会議を沼津市で開きました。

各地区本部運営委員会の会長・副会長、JA役職員52人が出席。組合員加入促進についての報告や各地区から寄せられた意見への各事業の対応などを話し合いました。これからも組合員の皆さまの声をJA事業に反映させ、共に取り組んでいきます。



活発な意見交換をする運営委員とJA役職員



新品種候補の果形や色づきを確認するJA職員ら(イチゴサミット)

## News 02 サミットで情報共有 イチゴ・ワサビで開催

JAは1月14日にイチゴサミットを、2月16日にワサビサミットを伊豆の国地区本部で開きました。

イチゴでは管内6産地の生産者や役職員が参加し、県の新品種候補のイチゴ「静岡16号」についての情報共有や、試験栽培のハウスを視察しました。ワサビでは販売状況や産地振興計画の取組報告、意見交換などを実施。高温対策や耐暑性品種の調査を進め、出荷数量の確保と高品質出荷を目指していきます。

FUJI IZU  
News Clip

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

JAふじ伊豆はSDGs「1~17の目標」につながる取り組みを行っています。

★各所に記載のマークはSDGs目標アイコンです。

旬のお知らせは  
他にもたくさん!  
ユーチューブでチェック





あいさつをする梶組組合長

### News 13 北郷支店・北郷営農経済センターの建設開始 新築工事の安全祈願祭

御殿場地区の北郷支店・北郷営農経済センターの新築工事安全祈願祭が2月5日に行われ、梶組組合長や設計事務所、建設会社などの関係者が参列しました。

梶組組合長は「米をはじめ、さまざまな農産物や人が集まる施設にしたい」とあいさつしました。令和9年6月下旬ごろに完成予定で、経済倉庫も建設されます。



出荷開始宣言を行う声優の伊波さん(右から2人目)と関係者ら

### News 12 「みしまコロッケ」がグランプリ ジャパン・フード・セレクションで受賞

第95回ジャパン・フード・セレクションで「みしまコロッケ」がグランプリを受賞し、2月6日にJA本店で受賞報告会が行われました。

三島馬鈴薯のしっとり、ほくほくした食感を最大限に引き出した完成度の高さが評価され受賞。梶組組合長は「ブランドとして認められ、グランプリという結果が生産者の励みになる」と話しました。



三島市の担当者(中央)がJAに受賞を報告

### News 14 「寿太郎温州」発見から 50周年! 「西浦みかん寿太郎」初出荷セレモニー開催

西浦柑橘出荷部会は1月30日、沼津市が舞台のテレビアニメ「ラブライブ!サンシャイン!!」の主人公で、西浦みかん大使の高海千歌さんの声優・伊波杏樹さんを招いてセレモニーを行いました。

西浦柑橘共同選果場で伊波さんが「西浦みかん寿太郎」の出荷開始を宣言し、眞野高志部会長、高木力常務、頼重秀一沼津市長と共に出荷レーンにミカンを投入しました。

### News 15 かんきつ 高品質な柑橘の安定出荷へ 栽培技術や管理方法を学ぶ

稲取漁港朝市会に柑橘を出荷する生産者と伊豆太陽地区本部東部柑橘委員会は1月23日、県農林技術研究所伊豆農業研究センターで柑橘の剪定講習会を開きました。

参加者は品質の高い果実の安定出荷を目指して、徒長枝の処理基準などのポイントを学びました。今後も品質向上と技術向上、労力軽減に取り組んでいきます。



講師から剪定のポイントを学ぶ生産者



見本の苗を見て品質や生育状況を確認

### News 09 苗から始まる高品質ワサビ ワサビ苗生産者とワサビ生産者が連携

ワサビ苗生産者とワサビ生産者は、連携して高品質生産の拡大に取り組んでいます。

富士わさび苗生産部会は、茎が太く根張りが良い苗を栽培し、伊豆の国地区・伊豆太陽地区・御殿場地区のワサビ生産者に出荷しています。同部会の苗は、両地区の生産者からの信頼も厚く、年々出荷数も増加。今期は1月から7月まで約55万本の出荷を見込んでいます。

### News 10 岩田さんの「紅ほっぺ」が 最高位の県知事賞に 伊豆地区いちご品評会・伊豆の国市施設そ菜品評会

伊豆地区いちご品評会・伊豆の国市施設そ菜品評会が1月9日、伊豆の国市で開かれました。生産技術の改善や消費拡大などを目的に毎年開かれています。

いちご品評会では同市の岩田一さんが静岡県知事賞に、施設そ菜品評会では最高位の県東部農林事務所賞に同市の藤池光泰さんのミニトマトが選ばれました。

### News 08 県JA女性部発表大会 富士宮地区・赤池さんが最優秀賞、 なんすん地区・室伏さん優秀賞

2月20日に静岡市で開かれた「第69回静岡県JA女性部発表大会」の活動事例の部で、女性部富士宮地区本部の赤池恵子さんが最優秀賞を、なんすん地区本部の室伏映子さんが優秀賞を受賞しました。

赤池さんは「子ども見守りボランティアを立ち上げて」と題し、弁当作りなど生活困窮家庭を支える活動を通じて部員同士の仲間意識が強まったことなどを発表しました。



最優秀賞に選ばれた赤池さん(中央)



イチゴ152点、ミニトマト51点が出品

米を寄贈する佐野部長(左から3人目)



### News 11 生活困窮者支援へ女性部が米を寄贈 お米の力で地域を元気に

女性部富士宮地区本部は、昨年度から「おこめひとすくい運動」に取り組んでいます。約2カ月間、支店などに回収ボックスを設置し、部員や職員に“ひとすくいの米”の寄贈を呼びかけました。

集まった61.8kgの米は富士宮市社会福祉協議会へ寄贈。佐野博子部長は「このお米が笑顔につながればうれしい」と話しました。